



## 「完成」を目指して

星陵祭で15Rが上演する「寸前家族」のメンバー表が決まった。(●印がまとめ役)

<監督>  
<助監督>  
<キャスト>

<大道具>

<小道具・衣装>

<照明>  
<音響>  
<宣伝>

<装飾>

<脚本>  
<会計>

\*

合唱は、昨日初めて「はじまり」の全体を聞いたが、この時期としては骨格が出来ており、合唱の体を為していたので結構うれしいビックリであった。あとは、表情をつけたり、各場面での歌い出しを揃えたり、歌いきりの音程や音量を正確にしたり、(澤谷先生が指摘してくれた)ブレスを揃えたりと、どれだけ磨きをかけられるかだろう。合唱委員の指

示をしっかり受け止めて、日ごとにステップアップを目指そう。

もちろん、歌が仕上がっていることは当然であるが、一年生の場合は、例えば歌っている時の一体感といった「雰囲気」的なものも、大きな評価のポイントになる。つまり、服装から態度まで、合唱を支える基本的な取り組み姿勢までが、評価の対象になるということだ。入退場がダラダラしていたり、舞台上で体がグラグラしていたり、合唱中に口が思いっきり開いていなかったりすると、客席からはかなり目立つ。本番の舞台では、指揮者をしっかりと見つめ、心を一つにして、精一杯歌うことが大切だろう。

昨日の練習では、●●くんの指導も立派だった。みんな、自分が●●くんの立場に立ったとして、あれだけ責任をもって仕切れるかどうか、ちゃんと考えてみよう。「だって●●くんは、音楽が得意だし好きだから…」と思った諸君、では、君が得意で好きなことなら、彼の代わりを務められるのだろうか？人の前に立って全体をリードするというのは、本当に大変なことなのだ。だからこそ、みんなはそういう人をもり立て、バックアップしていくように努めるべきだろう。私が「ハイ！って返事をしよう」といったのは、そういう気持ちを表現しようということだ。

あと一週間、後悔のない歌唱を仕上げてほしい。同時に、この「ハイ！」が自然に心から言えるようになった時、15Rの「合唱」は「完成」したと言えるのではないだろうか。